

日韓における保育者の保育実践に関する研究 —子どもの人権を中心に— (中間報告)

学習院大学 教育学科* 崔 美 美
学習院大学 教育学科 秋 田 喜代美

A Study of ECEC Practices of ECEC Educators in Japan and Korea: Focusing on Children's Rights

Gakushuin University, CHOI, Mimi
Gakushuin University, AKITA, Kiyomi

要 約

近年、幼稚園・保育所等は乳幼児にとって重要な社会文化的環境として、家庭とともに乳幼児の成長と発達において重要な役割を果たしている。筆者らはこれまで、日本と韓国における保育者の保育実践に関する事例研究、国や自治体の取り組みに関する比較政策研究、特に「保育者の専門性向上」に焦点をあてて行ってきた結果、幼稚園・保育所等において「子どもの権利を保障する」ことの重要性が見出された。

本研究では、日韓における保育者の保育実践を「子どもの人権」に着目して分析することで、子どもの人権を保障するために両国の保育者がどのように実践・工夫しているか、どのような課題を抱えているかを明らかにすることを目的とする。

【キー・ワード】子どもの権利, 保育実践, 日韓比較

Abstract

In recent years, ECEC centers have become critical socio-cultural environments for children, playing an essential role in their growth and development with the family. The authors have conducted case studies on the practices of ECEC educators in Japan and Korea, as well as comparative policy research on the efforts of national and local governments, with a particular focus on the professional development of ECEC educators, and found the importance of guaranteeing children's rights in ECEC centers. By analyzing the practices of ECEC educators in Japan and Korea with a focus on children's rights, this study aims to clarify how ECEC

* 現所属：千葉大学

educators in both countries practice and devise ways to guarantee children's rights and what challenges they face.

【Key words】 Children's rights, teachers practice, Japan-Korea comparison

問題と目的

保育所保育指針においては、保育所の社会的責任について、「子どもの人権に十分配慮するとともに、子ども一人一人の人格を尊重して保育を行わなければならない」と示している。そして、子どもの人権を尊重し、その最善の利益を考慮して保育を行うためには、それぞれの職務にふさわしい専門性が求められている（厚生労働省，2018）。

韓国においても、オリニチプ（日本の保育所に相当する）における乳幼児の人権保障のための国や自治体の取り組みは、乳幼児やオリニチプ等に対するあらゆる角度（物的、人的環境等）から捉えられていて、それに関する詳細内容は「嬰幼児保育法」に基づいた「保育事業案内」に規定されている（韓国保健福祉部，2021）。そして、韓国における乳幼児の権利を保障するための国の取り組みとして、1991年に乳幼児の保護と教育に関する「嬰幼児保育法」制定、1993年に政府による保育政策を支援する「育児総合支援センター」（オリニチプおよび家庭保育の支援）の設置・運営、2005年に国務総理室直轄の育児政策開発センター（2009年より「育児政策研究所（Korea Institute of Child Care and Education）」に改称）の設置・運営、2006年にオリニチプ評価認証制度の実施（2019年6月より「評価制」に義務化）等が挙げられる。

なお、すべての子どもたちは、学び手として、また社会の大切な一員として、その可能性を最大限に発揮できるよう、公平な学びの機会を得る権利があり、すべての保育者には職業上、公平性を推進する義務がある（NAEYC，2019）。また、保育者が子どもの権利について教育を受けることは、子どもの学びとその権利を保障する上で重要な役割を果たす。保育者には、子どもの権利を支えるために子どもの権利を正しく理解し、どのように保護し、実践に反映させるかが求められている（Banko-Bal & Guler-Yildiz，2021）。

日本と韓国は社会的・文化的背景の近い国であり、幼保二元化や少子化のような共通の課題にそれぞれ取り組んでいることから、日本と韓国における保育者の認識を比較分析することで、両国が有益な示唆を得ることが可能となると考えられる。筆者らはこれまで、日本と韓国の幼稚園・保育所等における保育の質の確保・向上に関する国の保育政策について、特に「保育者研修」を中心に文献研究を行ってきた。本研究では、これまでの文献研究を踏まえて、幼稚園・保育所等の保育者を対象とした実証的研究を「子どもの人権」に着目して行うことで、子どもの人権を保障するための保育者の工夫や課題、子どもの人権に関する保育者の認識を明らかにすることが可能であると考えられる。

そこで、本研究では、日韓における子どもの人権を保障する保育実践（実際）について、保育者自身がどのように認識しているかを、次の2点を中心に分析検討を行う。第一に、日韓の保育者が、「子どもの人権を保障するための室内の物理的環境」をどのように構成・設定しているかを分析検討することで、乳幼児の経験を保障するための保育者の工夫や課題を明らかにする。第二に、日韓における

保育者の「子どもの人権を保障する保育実践」について、保育者の知識（Knowledge）および実際（Practice）を中心に分析検討することで、保育者自身の「子どもの人権を保障する」保育実践に関する認識および実態を把握する。

方法

調査対象および調査内容

幼稚園・保育所等で勤めている日本と韓国の保育者（それぞれ約 200 名）

(1) 「子どもの権利に関する研修」に対する保育者の認識（10 項目）、(2) 「子どもの権利を尊重する保育実践」に関する尺度（36 項目のうち、日々の保育 20 項目とかがわり 16 項目・5 件法）（Kim, 2009）、(3) 「室内の物理的環境の構成および設定」に関する尺度（6 項目・5 件法）（Knauf, H., 2019）。(2) と (3) に関しては、Kim（2009）と Knauf（2019）の調査項目を基に、その一部項目を日本の園文化に合わせて修正し使用した。

調査方法および期間、分析方法（韓国における WEB 調査）

2023 年 1 月～2 月に、韓国における調査参加者を募集および質問紙の作成（質問紙の作成は、外部委託する）を行い、2023 年 3 月～2023 年 4 月には、参加希望者を中心に WEB による質問紙調査（選択式質問と自由回答式）を実施する。調査によって得られたデータは、SPSS21 Statistics 21.0 を用いて解析を行う。本研究は、学習院大学研究倫理委員会の承認を得て実施している。

現在の進捗状況

これまでに、先行研究を基に質問紙調査の項目を作成し、一部の調査（日本における調査実施）を実施した。これからは、この助成による調査（韓国における WEB 調査）を開始する。

引用文献

厚生労働省 2018 「保育所保育指針解説」.

韓国保健福祉部 2021 「2021 年保育事業案内」.

Banko-Bal, C., & Guler-Yildiz, T. (2021). An investigation of early childhood education teachers' attitudes, behaviors, and views regarding the rights of the child. *International Journal of Child Care and Education Policy*, 15(1), pp.1–26.

Kim, J. 2009 Meaning of care-giving for infants and children's rights respect in care-giving teachers, and its implementation standard (Doctoral dissertation, Sookmyung Women's University)

Knauf, H. 2019 Physical Environments of Early Childhood Education Centres: Facilitating and Inhibiting : Factors Supporting Children's Participation, *International Journal of Early*

Childhood, Vol.51(3), pp.355-372.

NAEYC 2019 Advancing Equity in Early Childhood Education:National Association for the Education of Young Children (Position Statement) .